



## 2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月15日

上場会社名 中道リース株式会社

上場取引所 札

コード番号 8594 URL <http://www.nakamichi-leasing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営主計室長 (氏名) 遠藤 龍二

TEL 011-280-2266

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年12月期第1四半期の業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	10,578	8.6	260	20.4	270	20.0	178	15.8
2019年12月期第1四半期	9,736	0.1	216	0.4	225	6.4	154	8.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	24.11	
2019年12月期第1四半期	20.86	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	126,713	8,012	6.3
2019年12月期	131,289	8,010	6.1

(参考)自己資本 2020年12月期第1四半期 8,012百万円 2019年12月期 8,010百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期				8.50	8.50
2020年12月期					
2020年12月期(予想)				6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	2.5	420	6.6	440	6.5	290	6.8	39.27
通期	40,400	2.2	660	27.2	700	26.4	440	28.9	59.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	8,679,800 株	2019年12月期	8,679,800 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	1,280,799 株	2019年12月期	1,284,907 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	7,395,874 株	2019年12月期1Q	7,383,199 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第1四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いておりましたが、日韓関係の悪化や消費税増税の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内消費活動の冷え込み、インバウンド需要の減少等、景況感が悪化し、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、営業部門におきましては、東京支社に属していたバス関連営業部を事業部として独立させバス事業営業部とし、また釧路営業所及び山形営業所をそれぞれ支店に昇格させるなどの営業強化を図り、積極的に営業活動を展開してまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における新規受注高は、金融投資の増加等により10,489百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

当第1四半期累計期間の売上高は、リース売上高及び割賦売上高の増加等により10,578百万円（同8.6%増）、営業利益は260百万円（同20.4%増）、経常利益は270百万円（同20.0%増）、四半期純利益は178百万円（同15.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。なお、各セグメントにおける売上高については「外部顧客に対する売上高」の金額、セグメント利益については報告セグメントの金額を記載しております。

#### [リース・割賦・営業貸付]

当セグメントの新規受注高は10,389百万円（前年同四半期比11.9%増）、営業資産残高は97,070百万円（前期末比0.0%増）となりました。売上高はリース収入の増加等により9,692百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益は133百万円（同46.1%増）となりました。

#### [不動産賃貸]

当セグメントの新規受注高は96百万円（前年同四半期比47,130.5%増）、営業資産残高は13,983百万円（前期末比0.9%減）となりました。不動産賃貸料収入の増加により売上高は877百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益は275百万円（同5.8%増）となりました。

#### [その他]

当セグメントの新規受注高は4百万円（前年同四半期はありませんでした）。営業資産残高は87百万円（前期末比2.4%増）となりました。売上高は9百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は6百万円（同3.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前期末比4,576百万円減少し126,713百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものです。

負債合計は、前期末比4,578百万円減少し118,701百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

純資産合計は、前期末比2百万円増加し8,012百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加とその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2020年2月14日に公表いたしました数値からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,588,110	6,210,794
受取手形	2,483	271
割賦債権	25,254,445	24,849,148
リース債権及びリース投資資産	70,100,987	70,580,444
営業貸付金	142,391	162,902
その他の営業貸付債権	2,136,882	2,083,130
賃貸料等未収入金	2,314,018	2,431,670
その他の流動資産	557,297	609,935
貸倒引当金	△139,426	△137,192
流動資産合計	111,957,188	106,791,103
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	14,486,053	14,331,604
社用資産	62,559	61,857
有形固定資産合計	14,548,612	14,393,461
無形固定資産	83,904	81,697
投資その他の資産		
その他の投資	4,660,376	5,432,411
貸倒引当金	△31,973	△57,370
投資その他の資産合計	4,628,403	5,375,041
固定資産合計	19,260,919	19,850,200
繰延資産	70,832	71,653
資産合計	131,288,938	126,712,955
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,022,892	304,599
買掛金	2,810,895	4,460,374
短期借入金	2,570,000	3,070,000
1年内返済予定の長期借入金	32,160,442	31,046,669
1年内償還予定の社債	2,260,000	2,050,000
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	221,076	221,721
未払法人税等	202,536	126,386
割賦未実現利益	994,318	971,039
役員賞与引当金	45,000	-
賞与引当金	92,335	62,574
その他の流動負債	1,782,508	1,989,558
流動負債合計	44,162,003	44,302,920

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	5,440,000	5,820,000
長期借入金	62,215,870	57,366,799
債権流動化に伴う長期支払債務	1,295,676	1,135,525
退職給付引当金	61,882	63,077
受取保証金	5,855,284	5,800,795
資産除去債務	847,137	852,742
その他の固定負債	3,401,413	3,359,047
<b>固定負債合計</b>	<b>79,117,264</b>	<b>74,397,985</b>
<b>負債合計</b>	<b>123,279,267</b>	<b>118,700,905</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,297,430	2,297,430
資本剰余金	2,137,430	2,137,430
利益剰余金	3,601,841	3,717,307
自己株式	△219,947	△219,460
<b>株主資本合計</b>	<b>7,816,755</b>	<b>7,932,708</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	192,917	79,343
評価・換算差額等合計	192,917	79,343
<b>純資産合計</b>	<b>8,009,671</b>	<b>8,012,050</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>131,288,938</b>	<b>126,712,955</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	9,736,179	10,578,286
売上原価	8,998,161	9,742,084
売上総利益	738,018	836,201
販売費及び一般管理費	522,425	576,573
営業利益	215,594	259,629
営業外収益		
受取利息	141	101
受取配当金	794	805
匿名組合投資利益	14,684	17,946
償却債権取立益	-	29
その他の営業外収益	81	71
営業外収益合計	15,700	18,952
営業外費用		
支払利息	3,837	5,688
支払手数料	2,132	2,128
その他の営業外費用	132	566
営業外費用合計	6,100	8,383
経常利益	225,194	270,198
特別損失		
投資有価証券評価損	-	3,985
固定資産除売却損	27	-
特別損失合計	27	3,985
税引前四半期純利益	225,167	266,213
法人税、住民税及び事業税	104,456	113,571
法人税等調整額	△33,314	△25,680
法人税等合計	71,143	87,891
四半期純利益	154,024	178,323

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	リース・割賦 ・営業貸付	不動産賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,859,736	867,134	9,726,870	9,309	9,736,179	—	9,736,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,859,736	867,134	9,726,870	9,309	9,736,179	—	9,736,179
セグメント利益	91,054	259,997	351,051	6,246	357,297	△141,704	215,594

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケアサポート事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△141,704千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	リース・割賦 ・営業貸付	不動産賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,691,940	876,919	10,568,859	9,427	10,578,286	—	10,578,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,691,940	876,919	10,568,859	9,427	10,578,286	—	10,578,286
セグメント利益	133,011	275,008	408,019	6,468	414,486	△154,858	259,629

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケアサポート事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△154,858千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(新型コロナウイルスの感染拡大による被害の発生)

新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年4月7日に政府より「緊急事態宣言」が発出されたことを受け、今後、当社顧客に対する営業債権について、一部回収が困難となる可能性があります。なお、当該損失が当事業年度の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響については現時点では合理的に算定することは困難ではありますが、貸倒関連費用の増加が見込まれます。